



家庭や地域と共に「**A** **I** が飛び交う学び場」をすべての子どもたちに

はばたき NO.15

— 2023年度 横手市立横手北小学校 学校報 —

令和5年 6月27日発行

「**学ぶ**」は楽しい」を目指して①

今年最初の研究授業は、4年1組の理科と6年2組の算数です

今年度、本校では『「学び」の楽しさと大切さ』を子どもたちに』のテーマの下、よりよい授業を子どもたちと作っていきけるよう、研修を進めています。

6月20日(火)、秋田県教育庁南教育事務所雄勝出張所と横手市教育委員会の指導主事の先生方をお招きし、今年度最初の研究授業を行いました。今回は、4年1組の理科と6年2組の算数。どちらの授業も身近なものから、学習を進める活動を行いました。

4年生の授業では、市内の小中学校の理科の先生方も参観する中で、「電気のはたらきをパワーアップさせるには、どうすればよいか」について、複数の電池を自分たちで考えた回路でつなぎ、プロペラや豆電球の様子を調べる実験を通して考えました。実験の後は、タブレットに記録した動画や写真をみんなで見ながら、電気をパワーアップさせるつなぎ方は「直列つなぎ」ということなどを確認していました。実験を伴う問題解決学習は、4年生になってから初めてでしたが、みんな真剣に取り組むことができました。

6年生の授業は、「割合の表し方」を学習する単元の1時間目。2:3、4:6、6:9で薄めた、量が違うめんつゆが全て同じ味になる理由を考え、説明する活動を行いました。子どもたちは、これまで学習した知識を使いながら、三つの割合が同じことを説明する方法を考えていました。「めんつゆを水で薄める」という日常生活を数学的に説明する活動は、子どもたちの興味を引き出すものでした。

放課後、先生たちは授業を参観してくださった指導主事の先生方と一緒に、もっと子どもたちの「知りたい」「やってみよう」という気持ちを引き出し、見通しをもって学習に取り組ませる手立てなどについて話し合いました。

4年1組、6年2組のみなさん、SS先生、FS先生、おつかれさまでした。



どの回路がいいのかな？



プロペラがさっきより速くなったぞ



量が違うめんつゆが
同じ味なのはなぜ？



同じ味になる理由は...

大谷翔平選手の活躍に思う…

学校で行う教育活動の内容は、10年ごとに改訂される「学習指導要領」に基づいて行われます（今の「学習指導要領」は2020年から実施されています）。どうして学校の教育活動を定める「学習指導要領」が10年ごとに変わるのでしょうか。それは、子どもたちがこれから生きていく社会がどんどん変化していくからです。

それでは、今の子どもたちが巣立っていく未来はどうなっているのでしょうか。結論から言うと、情報化やグローバル化に伴う社会や生活の変化が加速度的に進み、これまで以上に予測が困難な時代になると言われています。そして、今の子どもたちには、予測困難な時代の社会の変化に対して受け身で対処するのではなく、主体的に向き合って関わり合い、自ら問いを立ててその解決を目指し、多様な人々と協働しながら新たな価値を創造していく力が必要とされています。その力を身に付けさせるために考えられたのが今回の「学習指導要領」です。

……

今の子どもたちに必要な力をみて思い出すのは、現在大リーグで活躍し、毎日のように報道されている大谷翔平選手が、高校1年生の時に作った「目標達成シート」です。シートの中心に大きな将来の目標（「ドラ1 8球団」）。その周りのマスに目標を達成するために必要な八つの要素（色つきのマス）。そして、八つの要素ごとに、それを達成するために努力すること（白いマス）をまとめたものです。

このシートで注目したいのは、八つの色つきのマスには、「コントロール」などの技術的な要素だけではなく、「人間性」や「運」などがあること。そして、その項目の白いマスには、「礼儀」や「あいさつ」「ゴミ拾い」などがあることです。大きな目標を達成するには、単に自分の技術を高めるだけでなく、他の人との関わりが大切だということを踏まえ、普段の生活でやるべきことを具体的に決めているのがこのシートのすごさだと思います。これは、先の「自ら問いを立ててその解決を目指し、多様な人々と協働しながら…」につながるものだと思います。

未来を力強く生きていくためには、他の人と関わる力が不可欠です。保護者の方々、地域の方々の協力を得ながら、子どもたちにしっかりとそのような力も身に付けさせたいものだと、大谷選手の活躍を見ながら感じています。

